

財務諸表分析に基づく令和3年度当初予算（案）の編成について

Point 1. 資産の老朽化への対応

◆指標：住民1人当たり資産額、資産老朽化比率（有形固定資産減価償却率）(P.9)

◇課題：飯田市は他市に比べ、住民1人当たりの資産額が大きく、特に事業用資産についての老朽化が進んでいる



◎対応の方向性：保有する施設の計画的な改修が必要（さらには施設の廃止、縮小が必要）

○当初予算（案）への反映

・各種公共施設の改修工事費等を措置

中学校空調設備整備事業費 445,200 千円、小学校大規模改修工事費 172,200 千円、公営住宅建設工事費 186,858 千円など（普通建設事業費の総額は 6,525,095 千円（前年度比+12.8%））

・計画的な施設改修のための委託料等を措置（長寿命化計画の策定）

保育所等長寿命化計画策定調査業務委託料 10,000 千円、老人福祉施設長寿命化計画策定調査業務委託料 9,350 千円、都市公園長寿命化修繕計画策定業務委託料 18,000 千円など

Point 2. 現世代の負担と将来負担とのバランスを考慮した予算

◆指標：純資産比率、将来世代負担比率（社会資本等形成の世代間負担比率）(P.10)

◇課題：飯田市は他市に比べ、現保有資産に係る将来世代の負担が少なく、現世代の負担が大きい



◎対応の方向性：世代間の負担を考慮した資産形成、有利な起債を財源として活用

○当初予算（案）への反映

・市債の総額は前年度比で 1,239,700 千円増の 4,793,600 千円（臨時財政対策債を含む）

・中でも、施設の長寿命化計画に基づく「公共施設等適正管理推進事業債」を学校施設、公民館、図書館等の大規模改修等に活用（総額 668,700 千円）

Point 3. 行政コストを意識した予算

◆指標：市民1人当たり行政コスト (P.13)

◇課題：飯田市は他市に比べ、住民1人当たりの行政サービスに係るコストが大きい



◎対応の方向性：行政活動の効率化を高めるための取組が必要

○当初予算（案）への反映

・行財政改革に係る取組について、優先的に予算を措置

・公民館、文化会館、体育施設の予約システムの導入、ウェブによる行政手続の検討、小中学校、地区公民館等の公共施設の照明LED化など